

令和4年度

第5回香美市まちづくり委員会会議録【概要版】

日時：令和4年12月22日(木)午後6時半～午後8時
場所：香美市役所本庁舎3階会議室
出席者：まちづくり委員 12名
事務局(企画財政課)3名
欠席者：8名

議題 1. 香美市協働推進計画素案について

1 計画の概要、2 用語の定義、3 協働の領域と形態

【事務局の説明】(以下に記すもの以外は、資料をもとに修正箇所を読み上げて説明)
P2

・(2)の表が分かりにくく、各分野別に協働の計画を立てるかのように見えるというご意見をいただいているので、表現の変更を再検討する。

P4

・NPO法人について、2種類あることを伝えるために、「が」を「を」に変更している。また、計画中に、NPO法人とNPOという表現が混在しているため、NPOに統一する。

・旧案「3 協働の領域と形態」の最後にあった「協働をするときに大切なこと」を、表現を訂正した上で、ここの下部に移動している。また、「リュウ君」の絵を使用する理由を問うご意見があり、事務局として、掲載場所の文章と明確な関係性を考えていたわけではないので、キャラクターの使用について考え直している。一方で、この場所に限らず、リュウ君以外のキャラクターも、もっと使ってほしいというご意見もあり、キャラクターの使用に関して他に何かあれば、お願いしたい。

P6

・一番上の「補助・助成」について、以前の補助金・助成金という「金」をつけた表現を、財政的な内容が全てではないため、補助や助成に変更している。

・表の一番下の情報共有について、情報共有は協働の前段、基本姿勢になるものであるためこの表から削除すべきという意見が会長からあり、事務局で再協議し、削除を考えている。(同時にP5の表の中の情報共有も削除予定)

【委員の意見】

・ホームページによると、表紙絵にある各キャラクターは、それぞれ、香美市の旧町村を代表するものになっているようである。リュウ君なら観光地として全国的なものだから代表として載せた、という説明があれば、別に違和感がないと私は考える。(他のキャラクターの場合は、掲載していないキャラクターの地域からご意見が出てくるかもしれない)

→キャラクターの使用について他の意見はなく、今までに出た意見を踏まえて、事務局で決定する。

4 現状と課題について

【事務局の説明】（以下に記すもの以外は、資料をもとに修正箇所を読み上げて説明）
P7(2)

・「市民からの意見の取り扱いの基準を明確にした、フロー図などの作成が必要」という内容を入れては、というご意見いただいているので、検討している。

P8(4)

・掲載の写真について、「1つのグループのみの写真掲載になっているので、全体の写真を」というご意見をいただいているが、事務局にある全体写真は何をしているか分からないものしかなく、適したものがない。

また、現案の写真に掲載されている方(人)で、掲載が困るという方がいたら申し出てほしい。

【委員の意見】

・(4)掲載の写真について、「委員は写真の人だけではない」ということが分かるように、3つあるグループのうちの1つであることが分かるような載せ方をしたら良いと思う。
→そのように修正する。

5 現状と課題について

【事務局の説明】（以下に記すもの以外は、資料をもとに修正箇所を読み上げて説明）
P9

・第4回委員会での「基本方針の柱を立てて、その下に取り組みを・・・・」というご意見を取り入れて、基本方針と取り組みを集約したものを、始めの1ページに示し、次ページ以降で説明していくという形にしている。

P10～11 基本方針2

・「4 現状と課題」のところと同じく、「市民の皆様からの意見の取り扱い方法を入れては」というご提案をいただいているので、関係各課長らと協議をし、追加を検討している。

P12 基本方針3

・「(3)自治会間の連携促進」については、前回の委員会で、「ここでは(協働推進計画とは)違う話しになるので削除を」というご意見と、一方で、「自治会の連合などの仕組みが必要だ」というご意見があったが、事務局で検討した結果、やはり自治会間の連携の促進は必要だという結論から、旧案にあった“集落の枠を広げた地域活動、地域支援の方法を検討する”という部分は削除し、連携の促進だけを残している。

【委員の意見】

・「高知工科大学と連携」という記載について、山田高校なども地域活動を盛んにやっ

ているが、高知工科大学と記載した理由は何か。

→高知工科大学地域活動奨励事業費補助金等の高知工科大学との連携事業を想定して当初記載したが、連携や支援はそれに限ったことではないので、高知工科大学に限定しない記載へと修正する。

・基本方針 2 の環境整備や 3 の自治会の支援については、タイトルに行政目線を感じる。とくに、自治会役員負担の軽減など、行政側ができるのだろうか。

→自治会は、行政との結節点となる重要な組織だと捉えており、自治会の活性化は協働においても重要なため、基本方針として掲げている。「支援」という観点については、行政も自治会に対して色々とお願いをしてくれているが、今後は、自治会からの要望についても聞いていきながら、活性化につなげていきたいと考えているため、このような表現にしている。

・役員の具立的な負担軽減として、例えば、地域活性化総合補助金申請等の書類作成支援をしてほしいというのは、可能でしょうか。

→補助金を受ける団体と交付する側は明確に分かれている必要があり、実際の書類を作成するのは少し難しいが、アドバイスや支援であれば可能であるとする。

全国的にどこの自治会でも、世代交代や役員のローテーションについては困っているにもかかわらず、他の自治体ではこうしているという情報をあまり持っていなかったように思うが、そういった情報の提供（規約の様式、世代交代についてこういう工夫している例がある等）をしていくという意味での負担軽減もある。

・自治会役員の役割に、広報の配布がある。対面での広報配布を通して地域間の住民との親睦をはかりなさいという意味も分かるが、広報の配布方法を工夫して負担軽減をすとか、各自治会で役員の負担軽減ができるような何かを、行政には考えてほしい。

→自治会によって事情は異なるので、広報配布の意味を押し付けるものではないが、協働においても、地域住民が顔を合わせる機会は大切だと考えるので、対面での配布をしない場合は、その意義を他の行事で補う等、それぞれ工夫していただけたらと考える。

・この委員会の一番始めに、八王子市の職員向けの協働ハンドブックを見たと思うが、そこまで詳しくなくても良いので、P13 市職員の意識啓発の中に、香美市でもその作成を入れてほしい。

→検討する。

6 協働のまちづくりの推進に向けて

【事務局の説明】（以下に記すもの以外は、資料をもとに修正箇所を読み上げて説明）

P15

・本市の推進体制の図について、前回ご意見があった「香美市協働推進計画」を左側へもっていき、「協働」を削除し、右横に「協働のまちづくりの実現」としている。

P16～P29

・資料編を作成している。旧案「6」にあった「取り組み評価シート」は、資料編に移動している。

【委員の意見】

- ・(1) 計画の推進の「広報やホームページで本計画を周知」は、SNSなど他にもあると思うので、「広報やホームページなど」とすると良いと思う。
→そのように修正する。

議題 2. その他について

今期の感想や次期まちづくり委員会へ向けてのご意見等

- ・みんなが話しやすい、意見を出しやすい会にしてもらいたい。(もっと、ざっくばらんに話しができると思っていた等、同意見多数)
- ・内容が難しかった。(同意見多数)
- ・次期委員会は、ミッション変更の検討が必要では。
- ・市について考える良い機会になった。
- ・出来た計画を今後活かしていけるかが大事。行政はもちろん、私も参画していけることがあればどんどん取り組んでいきたい。香美市が、もっともっと、住んで良かったと言ってもらえる「まち」になるといいなと感じる。
- ・計画案の修正などが主で、もっと役に立てるかと思って参加したがそれができず残念な部分はある。
- ・改めて計画策定の難しさが分かった。委員同士がもっとお互いのことを知った上で話し合いができると良かったかもしれない。
- ・今後はせっかくできた計画を生かして、ワクワクするようなまちづくりにつなげてほしい。
- ・次期委員会では会の目的やどういった人を委員にするかなどを明確にして、スタートしてほしい。
- ・地域コミュニティである自治会が大事だと痛感した。次期委員会では、4つの基本方針の具体策を話し合い、自治会の活性化・課題解決に向けて動いてほしい。

→今期は、出発点ではあるが一番難しいテーマに取り組んでいただいたと考えている。今後は、より身近なテーマで、ワクワクしながら参画していけるような会となるよう、頂いたご意見を踏まえて、次期まちづくり委員募集に向けて検討していきたい。本当にありがとうございました。